

令和５年度 相生学院高等学校 学校評価結果

構造改革特別区域法等の基準により相生市が設置の認可を行った相生学院高等学校について、令和５年度の学校運営全般の状況を同校から提出された資料、相生市教育特区学校設置審議会の意見等を参考に市として評価を行いましたので、その結果を次のとおり公表いたします。

		評 価 の 視 点	評 価	評 価 コ メ ン ト
評 価	各教科の状況	授業の状況 特別支援教育の状況 進路指導の状況	おおむ ね満足	スクーリングにおいて教師がパワーポイントを活用して、授業を分かりやすくする工夫が見られる点は評価できる。 一方で添削指導については、システム導入による機械的な正誤判断だけではなく、生徒一人ひとりの学習の状況に応じた解説や自学自習を進める上でのアドバイスを記載するなど、生徒の学習意欲を高める細やかな対応を求める。
	生徒の状況	生徒指導等の状況 生徒の人格的発達の状況 安全管理の状況	おおむ ね満足	生徒は落ち着いて授業に取り組み、全員が授業に参加できていた点は評価できる。 生徒の問題行動が発生した場合に、どのような流れで全教職員が情報を共有するのかマニュアルを作成し、学校組織としての対処方法及び適切な指導体制が構築できるよう期待したい。
項 目	学校管理運営 の状況	組織運営等の状況 教育目標と学校評価の状況 設置者と学校の取組状況	おおむ ね満足	学校が行う自己評価は、保護者、生徒、教職員にそれぞれアンケートをとり、それを元に評価すること等により運営の改善点などを探っていくものである。アンケートの内容を充実させ、回収率を向上させることで、多様な意見を反映させた評価が必要である。

評価項目	学校・家庭・地域の連携協力の状況	学校に関する情報公開の状況 学校と保護者・地域住民等との連携協力の状況 学校に対する生徒・保護者の意見・要望等の状況	おおむね満足	地域との関わりについても機会が少なくなっているため、地域との交流の拡大を期待する。 アンケートの回答率が低いため、保護者の意見・要望が把握できていない。回答率を100%に近づけるよう、改善、工夫をする必要がある。
	学校設置による効果	学校が設置されたことによる経済効果	要改善	相生市の活性化に係る効果が確認できない。経済的な効果だけではなく、相生市民と共同でイベントに参加するなど社会的な貢献を図り、生徒が相生市に愛着と誇りを持つような取組も実施する必要がある。
	市との連携協力の状況	市への現状報告及びセーフティネット対策の状況	要改善	重大事態発生時の緊急報告はもとより、定期的に市に対して現況を報告するなど、連携の強化を図る必要がある。
総括・課題	スクーリングにおいて教員が工夫を凝らした資料を活用し、生徒も熱心に受講しており学習面について努力が感じられた。 関係者との連携について、アンケートの回答率が低いため、回答率を上げるための工夫が必要である。 地域の活性化に係る取組の効果が把握できないため、地域と連携協力を図って活動することで、地域に貢献できるよう努めていきたい。 前年度までの指摘事項について、改善がされていない点が見受けられるため、PDCAサイクルを回し、改善に努めること。			

評価項目については、「優れている」、「良い」、「おおむね満足」、「要改善」、「注意」の基準で評価しています。